

基督教同教会の主義・実行・目的

ジョン・アレキサンダー・ダウキ

特
5

020444-000-2

特53-518

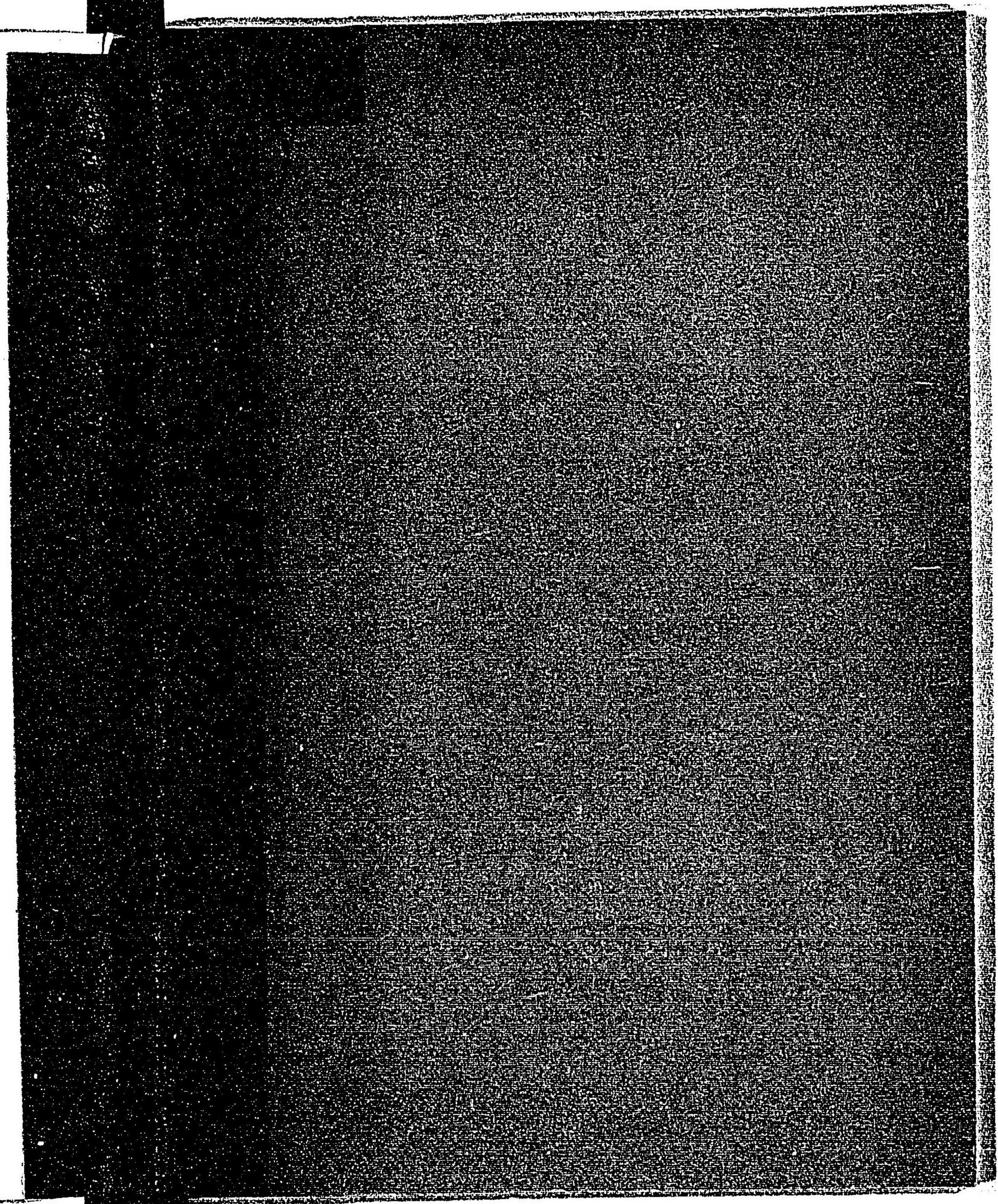
基督教同教会の主義，実行，目的

ジョン・アレキサンダー・ダウキ／著

M34

ABI-0254





基督教同教會の主義、實行、目的

基督教同教會 總監督

ジョン・アレキザンダー・ダウキ氏述

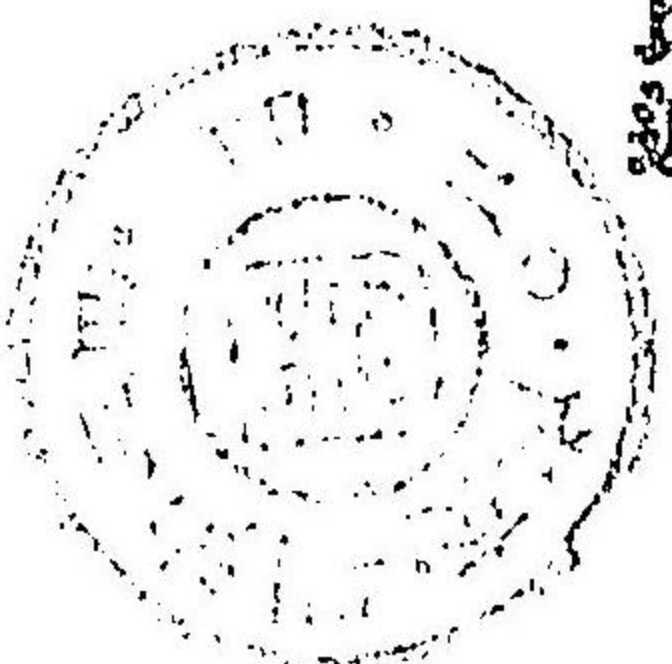
千九百零四年四月二十九日安息日合衆國ペンシルベニア州
フィラデルフィア市グランドオペラハウスニ於ケル説教

特 53
5.18

開會の祈禱

願くは、我口の言語、我が心の思想、主イエスの御名により、御前に受入れられ、現在及び、主イエスの再び來り玉ふ時までの未來に於て、是等の言語に接する各國の人々に益あらしめ玉はんことをアーメン、

余は今朝基督教同教會の主義、實行、目的に就て語るべし。説教の前に置くべき神の聖言としては、希伯來書十二章廿二節を引



基督教公同教會の主義、實行、目的

基督教公同教會

ジョン、アレキザンダー、ダウキ氏述

（一九〇九年四月二十九日安息日合衆國ペンシルベニア州
グランドオベラハウスニ於ケル説教）

特53
518

開會の祈禱

願くは、我口の言語、我が心の思想、主イエスの御名により御
前に受入れられ、現在及び主イエスの再び來り玉ふ時まで
の未來に於て、是等の言語に接する各國の人々に益あらしめ
玉はんことをアーメン、

余は今朝基督教公同教會の主義、實行、目的に就て語るべし、説教
の前に置くべき神の聖言としては、希伯來書十二章廿二節を引



用せん

然れども爾曹の近ける所はシオンの山又活神の城なる天の
エルサレム又千万の衆則天使の聚集天に録されたる長子共
の教會又衆の人を鞠く神及成全せられたる義人の靈魂新約の
中保なるイエス及び濯く處の血なり此血の云ふ所はアペル
の血の云ふ所よりは尤も愈れり慎みて告ぐる所の者は拒む
勿れ若し地にて示せる者を拒みし彼等免るゝとなかりしな
らば況て我儕天より示せる者を拒みて免るゝとを得んや昔
は其聲地を震へり今は彼告げて曰く我一次地のみならず天
をも震はんこの再一次と云へるは震はるべき者の棄られん
ことを示す此等の造られたるは震はれざる者の存らん爲め
なり是故に我儕震はれざる國を得たれば恩に感じて虔み敬

ひ神の意旨に合ふ所を以て之に事ふべし夫れ我等の神は燬
盡す火なり (希十二ノ廿二―廿九)

汝儕の近ける所はシオンの山なり

是は今を去る大凡千八百五十年前各所に離散たるヘブライ人
に贈らんがため神の啓示を受けたる使徒(使徒アポロ乎)の記
したる者なり、

此は非常なる書翰なり之に特筆せられたる事實は則ち神のキ
リストメシヤなるイエスが凡の義を成就し給ひしとなり又凡
ての儀式に關する律法中に影の如く顯はされたる表象は、キリ
ストに於て實となりたることを記せり且生ける神の教會が今
や動搖すべからざる基礎の上に立てられたると并に永遠の岩
なる彼の上に立てられたる者が元質の擾乱天体の破壊の中に

も依然として存立せんが爲に動搖すべき者は取去られつゝあ
 ることを宣言す、記者は又進で、神自ら立て玉ひし教會一即ユダヤ
 教會の事一が、悪魔の者に歸したること、且之に依りて、其正に取
 去らるべきと及ユダヤの「サンヘドリム」なる、所謂開化したる宗
 教団体、并にヘロデ王の神殿の祭司等は、其手を人血に汚し、其心
 を穢し、其体を汚し、神の聖なる神殿を汚したる政治家なるものと
 を証明せり。次に彼は、神の獨子イエス、キリストが自己を隔の首
 石とし、使徒と豫言者とを基礎として立て玉ひし教會の爲め、以
 上の者の取去られたることを示せり、更に進で、彼ら此の教會は
 彼の堅固に組織せられたる、ユダヤ教會に代りて起りし者にし
 て、其使徒は、漁夫税吏信用を失ひたる「ラビ」に過ぎざることを及漁
 夫によりて、哲學者を救ひ、十字架に懸けられし、ローマの囚徒の血

と、生命と死と、甦生とによりて異教國なるローマの大勢力を破る
 者なりしとを記せり、

希伯來書記者の大膽

アブラハムの血液を、其血管に有するヘブライ人に此の如き書
 翰を贈りて、神に反逆せるユダヤ教會の滅亡は神のキリストの
 己に明言し玉へる所なりと告知せるは、眞に、非常なる事なりき
 又アロンの族に属する祭司長の職が、今やレビの族に属せざる
 者に興へられたると、并に、ユダの族より起りメルキセデクの班
 を繼で、教を希さし祭司長が、一の教會を建設し之が爲め神に仲
 保たらんとして、天に登り之を組織せんとして、聖靈を送り而し
 て準備せる者を、己に迎へんが爲に、再び來り遂に自ら此の世に
 臨みて、此民を支配せんとし玉ふるを語るは、誠に大膽なるも

となりき、然り、是は凡て、ユダヤ人には非常に奇異なること、實に極めて無智愚昧の語、狂へる愚者の痴語に異ならざりしなり、諸君、凡て神の事業は、毎に此火を通過せざるを得ず、眞理は未だ曾て戦争なくして、世に受入れられたる時なし、之は出来得べからざる事なり、既に存在せる宗教団体たるや、種々の機關によりて堅固に組織せられ、且悪魔の支配は、廣く行き渡り居るが故に眞理をして世に勝たしめんには、戦争なくしては決して能はざるなり、然れども之にも拘らず、眞理は常に勝を制す、今日、余が總監督として、在シオン基督教公同教會に就き語らんとするに當りて、先づ諸君の注意を引かんことを希望するは、以上の根本的事實なり、余が此處にあるは、此の教會に關する神の使命を語らんが爲めなり、

本題を大別して三とす、曰く主義、實行、目的

基督教會公同教會の主義

は決定するに難からず、此教會の基礎は、新生にあるなり、爾等新に生れざる可からず、人は水と靈とにより生れざれば、神の國に入ると能はざるなり、人新に生るゝ時は神の國を見るときと得されど、「バプテスマ」を受けざる間は之れに入るふと能はざるなり、此の二個の異りたる要点は、ニコデモとの談話中、イエスの明に區別し給ひたる處なり、諸君も、此のユダヤ人の宰との談話中にキリストが神の國を見ることゝ、之れに入ることを、丁寧に別ち給ひしことを認めらるゝならん、今日も神の國を見る者は數多ありといへども、未だ曾て之れに入りしことなき者のみなり、モーセは約束の地を見たれども、之れに入らざりき、アブラハム

ムはキリストの日を見て喜びたり然れども之れに入るには多
 年を要したりき余は信ずアブラハムは彼のキリストが此の世
 を去りて「ハデス」陰府の黒暗なる堂に入り其門を開き給ひし日
 則ち此の地球には暗黒の日なりしといへども獄屋にある靈の
 ためには輝の日なりし其日までには神の國に入らざりしと彼の
 日に於て主イエスは其時まで動かす可からざりし大なる淵に
 橋を架し給ひて「獄屋」にある靈に宣傳へ「後勝利を得て天に登り
 アブラハムの如き、バラダイス（樂園）にありし者又はノアの時罪
 を犯して、多年間「タタラス」（地獄）にありし者の別なく凡ての信者
 の爲めに、天國の門を開き給ひたり彼れは凡ての信徒の爲めに
 天國の門を開き給ひたり故に在シオン基督教公會の基礎
 たるべき主義は先づ人をして其救はれたるふとを信仰により

せしむるにあるなり然れどキリストを仰ぎて十字架に懸り、后
 榮められ給ひし救主として見る信仰の眼は悔改せざる心には、
 決して起る能はざるなり、

悔改、信仰、服従は、基督教公會の
 基礎なる主義に屬する者なり

諸君の罪と不義が神と諸君の間にあるあひだは、諸君の目は見
 ぬざるなり諸君は、メソヂスト教會、バプテスマ教會、組合教會、
 長老教會、ルーテル教會、或は他の教派は、之を見るときを得べけれ
 ども、罪を悔ひ、キリストを見る眼開かれざる間は、イエスを見る
 とは能はざるなり諸君は盲者なり如何なる教會も、諸君を救ふ
 能はず諸君自から見て知らざる可からず此の見ると云ふ語と、
 知と云ふ語は、同一の意味を表す者なり我が見る所我之れを知

るなり。實見は之れ知識なり。神の生命の内にありては、知識は則ち實見なり。若し我彼を見れば、我彼を知るなり。若し彼を知らば、彼を見るなり。

永遠の父なる神は、其聖子を送り、永遠の靈を以て彼の中に住み、惡魔罪、疾病、死、及び陰府に勝つる權力を以て、彼を粧ひ玉へり。イエス、然りイエスのみ途なり、眞なり、生命なり、神の聖子に依らずして、天父の下に行く者なし。諸君も、神の聖子として、イエスを認めざる間は、諸君はなほ罪の中に在り、罪に死し、遂に罪の中に地獄に行くなるべし。

イエスは隅の首石なり

是れ在りシオン基督教會同教會の基礎なり。始も終も、何時もイエスなり。彼は無限絶對の權力を有し、玉ふ教主、醫癒者、潔め主、保護者、嚮導主、宰者、王にして、吾人は至高者として彼を認むるなり。

然り、吾人は常に斯く認めて、彼に事へざる可らず。吾人が最上の衣服を着して、集會に出席するの日、即安息日のみならず、拜禮日に於ても、市に街に、帳場に、工場に、作事場に、家庭に、庖厨に、客室に、晝夜廿四時間、一週七日間、絶へず斯く認めて、彼に事へざる可らざるなり。イエスは基督教會同教會の基礎なり。神ハキリストを礎石として、シオンに置き玉ひたり。則ち之を除ては、他に如何なる礎もなし。悔改は彼によりて教へられれば、ブテスマ、即三浸禮に於ける服従も、彼によりて教へられたり。而して是皆神の御國を見之に入るに必要なる者なり。

次に、神の聖言を最高者として尊重すると、是亦我公同教會の主義なり。信仰及實行の法則として、新舊兩約聖書にある神の聖語

の確實完全啓示を信するにあらずして、基督教公会加入する事を得る者なし。此は絶対的にして、我等の爲め、他の法則あらざるなり。吾人は區々繁雜なる規定を有せず、吾人は舞踏、喫煙、飲酒等に關する規則を設くるを要せず、之等は「一も入會申込書中に記したる、我教會の主義の中に記載せざるなり。余はキリスト教公会員にして、酒を飲み、煙草を煙し、豕肉を養ひ、劇場に出入し、世の罪惡に與みする者あるを知らず、然れど猶吾人は之等の事柄に關して、誓約をなさしむるとなし、眞の信徒にありては此の如きとは決して爲す能はざるなり。人は自ら「我は信者なり」と云ふを得ん、然れども若し、其身を汚さば、彼は滅亡を免れざるなり。是れ神の宮殿を汚す者なればなり。神の殿を汚す者、尙自ら信者なり」と云ふを得ん、然れども他人をして之を信せしめ得

ると思ふべからず、蓋此の如き人は、惡魔の臭氣を放てばなり。

（大笑）キリスト、信者は、其肉体を深く保たざる可らず、酒精、煙草、毒、コカイン、阿片、機那、其他、凡て、腦を害する魔醉的毒劑、反他の毒藥を飲む者は、肉体を汚し、快しき婦女に眼を向けしむるに至り、以て地獄の底に、自己を落す者なり。吾人は此の如き人に對して、少の信用を有せず。シオンには、此の如き人を入るゝの余地なし。潔かれよ、諸君の身体は、神の宮殿なり。

主義より實行に移るはいと易し、諸君が苟くもシオンに在、眞の信徒なる時は、實行は容易に決定せらるべし。若し靈によりて神に對する服従の徴なる是等の主義、諸君に入り、諸君又、バプテスマによりて神の國に入る時は、實行は既に決定せられたるなり。則ち、神の望望を行ふてふ一事と

なり終るなり然れども浸禮は眞の浸禮ならざる可らずキリス
 ト降世以後七世紀間に於けるキリスト教會内には父と子と聖
 靈の名に入れて行はれたる三浸禮の外他に浸禮式はなかりし
 なり是れキリス上の授け玉ひし浸禮式にして他に又異りたる
 者あらざりしなり此眞正の浸禮の力は人をして罪に死しめ神
 に生かしめ神に使ふるの力を得すしむ而して之は皆今日教會
 の尤も要する所の者なり願くば神速に之を送り玉はんとを(ア
 トマン)

基督教同教會は實行的なり
 口に語れども行はざる人は我に要なし神も又此の如き人は之
 を要し玉はずと余は確信す口には「キリストは我生涯の主權者
 なり」と云ひながら主の御業を助け其御國を擴張する爲に出金

せんとせを求められたる時は金貨には手も觸れず時には銀貨
 すら出さんとはせず漸く白銅か或は銅貨一個を捧げんとて財
 寶を探ぐる如き人は余は信する能はざるなり是れ偽人詐偽者
 盜賊なり彼等は神の物を盗む
 人若し神と關係を結ぶに至らば神が我等の爲に備へ玉ふもの
 を悉く得るには先づ神が要め玉ふ時我等の有する者悉くをも
 神に捧げざる可らざると認むるに至るなり故に吾人に認む
 敬虔の生涯の實行は全く服従を要するとをされば吾人が決心
 する處は向後我有する凡ての能力を神の榮の爲に用ひんと
 是なり吾人は妻や子等が家にありて眞の快樂を得家庭の宗教
 の感化を受けんとを望む吾人は我家庭の全く潔からんと此
 の世肉惡魔に屬する者の少しにても其中に存せざらんとを決

心する吾人の子女は、眞理を教へらる。彼等は決して偽のれ伽話
を以て教訓せられざるなり。即寧ろ神イエス、キリスト、聖靈神の
我等に示し玉ひし眞理等に就きて教へらる。而して「彼等」が之を
愛聴する。眞に如何許ぞや眞の宗教は家庭に始まるべき者な
り。茲に家庭の祭壇ありて、朝夕の祈禱に此處に捧げらる。信者な
りと稱する人にして家庭に於て妻或は子等と共に嘗て祈禱を
爲せしとなき者。あらは其人の家庭ハキリスト教的家庭と稱す
るを得るや。キリストは我万事なりと云ふ人にして家庭に於
て一の贊美の聲を上げず、神の御言を讀まず、而して此祈禱なき
家庭より直に信仰なき此の世の中に其子女を送り出すとせば
彼はキリスト信徒にはあらざるなり。否、彼は偽人なり、詐僞者な
り。欺人なり、卑怯者なり。此の如き人シオンに居らば我等の未だ
知らざる中に速に悔改むべし。然らずんば、我等は遂に之を知り、忽
ち彼等を放逐すべし。(大笑) 彼等は寧ろメソヂスト教會か、長老教
會か若くは他の此種に屬する教會にあるべきなり。如何となれ
ば、在シオン基督教公會は先づ家庭に於て、其宗教を實行す
る者なればなり。

吾人は要求す、信神は家庭に始むべき者なり。されど夫れに
て止む可からざることを。

神よ、我と我妻、我子、及其妻の四人のみを祝福し玉へ」と祈りし、或
人の祈禱の如く、賤むべき祈禱はあらざるべし。彼はキリスト信
徒にあらざりき、神を贊美し、神の聖言を讀むは、家庭にのみ限る
キリスト教は、キリスト教にあらざるなり。吾人か、我教會に教ゆ
るに、彼等は、一団体の一分子なることを忘る可からざるを以て

す即教會の一會員は、キリストの体の一部にして、全体も健全に活動せんと欲せば、各部の活動必要なること体の何れの部にても、絶へず適當に運動を爲さざれば退歩し衰弱し遂には死に至るべきことを以てす故に吾人は老人たると幼きとを問はず、凡ての人に向ひて、各自耕すべき地を發見せざる可らず又自ら教を受けざる可らざるを告ぐるなりされば吾人は、少年七十人組にて、神の恵により救の膏を被らし、義の胸當を衣せ、真理の帯をべしめ、平和なる福音の備の鞋を穿たしめ、信仰の盾を手に捧げしむ加之、彼等は未だ若年なれども「是れ神の御言なる聖靈の劔なり」とて、此劔をも授くるなり而して、此少年等が吾人の捧げたる此武器を用ゐるの態度、又彼等が神の爲に語り、神の爲に戦ひ、神の爲に勇敢に、又病魔の犯し來る時、神に祈り、神に語りて答

を得るの有様は、眞に感嘆に堪ざるなり。吾人は茲に始むるなり、吾人は妻と子より始む家庭以外に始むるキリスト教は、詐偽なり家庭に止まりて他に出でざるキリスト教も、詐偽なり、吾人は外部に向て進む故に

在シオン基督敎公會の全部は、實際に一の活動せる軍隊なり

余は今日、一時間内に、一千人の兵士を集むるを得、一例を擧ぐれば余は過る月曜日の夜、彼等を召集したりしに、七百五十人出席せり、其時余は此週間内に爲すべき少の仕事を彼等に命ぜしに、直に實行せられたり、即來る安息日に爲さんとするシオンと背逆せるメソヂスト教會てふ、説教の廣告紙三十万枚は、メソヂスト市に配布せられたるなり、然り余は三日間に、メソヂスト全市に及す

を得、余は實際に殆ど戸毎に使命を傳ふるを得るなり。此事の執行せられし熱心と、一週間内にシカゴ全市に及すとを得る、此完全なる組織を見ては、余も自ら喫驚せり。然れども、是はシカゴのみならず、何處にも爲し得べきとなり、即我兵士等は街より街に、露次より露次に赴きつゝ、土曜日の夜毎には、酒屋に赴きて、滅亡に陥りつゝある人々を求め、或は迷へる女子を導きて、其人々の爲に設けられたる、希望館に連れ來り、或は此館に來らざる者は、其兩親に引渡す等の勳を爲すなり。此軍隊を名けて、シオンの七十人組と云ふ、而して是は未だ幼稚の時代に在り。敬虔の實行、是れ在シ、オシキリスト教、同教會の基礎の第一なり。諸君若し神の爲めに働くの力を有しながら、之を用ひざることは、是れ地の中に金を匿くし置くの罪を犯すなり。神は諸君の

手に之を求め玉はん。其時諸君之を使用し居らば、諸君は外の暗に投入せらるべし。吾人は之を教へ、之を實行し、此上に生活す。而して吾人は、我教會に於ける是等の實行をば、生涯の凡ての方面に適應しつゝあるをり。吾人は又多くの人々は、熱火の中に勞働して、曾て勞働せず、富を得る爲には、何事をも爲さざりし他人の爲に、大に富を集積しつゝありて、勞働の報酬は、不平均に分配せられつゝあるを發見せり。即資本主は、當に受くべき報酬よりも遙に勝る、多分の利を占めつゝあるなり。勞働者は、其勞働の結果なる、利益を受くべき筈なり。然るに今日世界にあるバベル市府に於ては、腕力に訴へて、無理に之を要求し、勢力ある者と争ひて、自を保護するに非れば、何事をも爲すべからざる者の如し。故にシオンに在りては、

キリスト教的協合事業の主義
 を教之を實行し、又實行せんとして準備しつゝあるなり神は
 既に之を祝福し玉へり更に多く祝福し玉ふべし吾人は信ずキ
 リスト信徒は唯能く協同し得ると云ふに止まらず世の人より
 も更に能く協同するを得べしと本より彼喫烟も飲酒する惡
 臭を放ち不潔に満つる人々に吾人の勞働の報酬を與へざる可
 らざるの理はなきなり
 久しき以前豫言せられたる如く神の民が勞働し建築し住居し
 播いて而して収むるの時節到來せり吾人は其時の爲に準備せ
 り既に之に入れり蓋在シオン基督教公會の會員は他にあ
 る同盟よりも四割は進み居ればなり彼等は秘密結社、煙草酒藥
 醫師、劇場娼婦賭博等の爲に一錢をも費さず基督教公會

員は、ヒラム、アビンの墓に詣で、呪はれたるメーソン結社の背
 逆の社會に於て、其臭氣に満てる屍を嗅ぐの愚を爲さず彼等は
 日の神なるバーアルを拜する者にあらず彼等はイエスキリス
 トの聖名を拒む秘密結社に屬せざるなり夫れメーソン結社な
 る者はユダヤ人も無神論者も亦神に其心を捧ぐべしと會て誓
 ひしとなき人にてても之に加入するを得るなり故に此結社中
 ては、神の聖子イエスキリストの聖名は嘗て唱へられしとなし
 然り、メーソン結社はキリスト教にあらざると云ふに止まらず實
 にキリスト教に敵する者なりさればシオンにあるキリスト教
 公會會員は此の如き者に關係するの時を有せず否な寧ろ之
 を抗撃するなり彼は果を結ばざる暗の業を責めて光の中を歩
 むなり、イエス曰く「我は陰に語れるとなし」と故に在シオン公會

教會々員は秘密の誓をなし、又秘密の結社に屬するが如き事をなさず、彼は光の中を歩むなり、故に妻の爲め、子女の爲め、家庭の爲めに十分の時間を有す、彼は馬の如く、食ひ牛の如く、飲むメシ、結社の宴會に列席するよりも、更に要用なる事に従事すべき時間を有す、メシ、ソシ會員は盜賊なり、彼等は其妻の生命を盜む者なり、家庭に興へんと約せしものを盜む者なり、家庭に於ける凡ての善物、潔き物を盜みて、ヒラム、アビスに與ふるなり。

シオンは神政黨なり

諸君は民政黨に屬するや、共和黨に屬するや、シオンは之等の何れにも屬せず、シオンは神政黨なり、吾人は神の支配を信する者なり、則ち心の上にも、家庭の上にも、市政の上にも、州政の上にも、立法の上にも、行政にも、司法にも、神の支配を信する者なり、吾人は此主義の爲に戦ひつゝあり、然り、此神政黨の爲に。

吾人は民政主義を信せず、吾人は今茲に明白に之を公言す、若し諸君が余に向て「我等は、人民が人民自己の爲に自らを支配す、民主主義 (The rule of the people, by the people and for the people) を信すと云

は、余は直に答へて云はん、シオンは此の如き主義を破壊せんが爲に立てり、と、何故ぞや、曰く、人民の多數は悪人なり、彼等の多數は飲酒家なり、彼等の多數は不信者なり、彼等の多數は神を嫌ふ者なり、彼等は飲酒し、喫烟し、偽り、盗み、且不義を行ふ、最上等に位する市府に於てすら、彼等の多數は不信仰の徒なり、故に人民の多數が支配するとせば、尤も悪しき者が支配するとなれば、なり、民政主義は利己主義なり、自己の爲に自己が支配する者は、利己なると明なり、吾人の信する所は、神と人との爲に、神に依り

て人が支配する主義なり。ア—メン—キリスト教は實際一の政黨組織なり、又一の社會制度なり、一の宗教制度なり。而して之に屬する者は、他と別れて、特殊の存在をなす。是れ止むを得ざるなり。彼等は此世の恥づべき職業、恥づべき樂を、其にする能はず。故に彼等は單獨に存在するを要す。世にあるも世と與なる可がらず。彼等は世を責めざる可らず。在シオン基督教同教會の實行は、万民を惠まんとするにあり。故に其實行は種々の協同事業の上、に現はれ來るべし。

基督教同教會の目的

今之を單純に明白に述べし。在シオン基督教同教會の目的は、現今存在せる他の各派の教會を破壊するにあり。此時堂内各所より「ヒッス」——嫌惡の意を以て反對する時に出す聲——起り、同

時にシオンの會員及友人より、喝采起る。動物中「ヒッス」する者二あり。一は鵝鳥にして、他は蛇なり。此孰れに屬するも、諸君の自由なるが、諸君は人類なるに、遺憾其一に似たる者たるは免る可らず。主イエスキリスト、其教會を設立し玉ふや、當時存在せる他の教會を悉く破壊するの目的を以て、之を爲し玉へり。今「ヒッス」の聲を發せし鵝鳥や蛇は、恐くは無意にして之を爲せしならん、或は酒に酔ひ居りしならん、或は烟草の爲め、惡臭を放ちつゝありて「ヒッス」の聲を發するは、結構なるとなりと恩ひしならん。余は兄等の茲にあるを喜ぶ。卿等蛇の類よ、此度こそは余が語る所、卿等の耳に達せり。此時又「ヒッス」の聲起り、シオンの會員及友人より喝采起る。

キリスト教會は、ユダヤ教并に各種の異教禮拜を破壊せんが爲

に設立せられたり。是は凡ての背逆徒を亡さんが爲に設立せられたるなり。是は悪を滅さん爲め、凡ての偽善を亡さん爲め、設立せられたるなり。(此時數十人起て堂を去れり)余は人々を尤も激動せしむるに足るの説教を爲したるを忻ぶ、(喝采と「ヒッス」余は善き働の爲されたる毎に、必ず之を知る。悪魔已が馬車を曳來りて、負傷者を運び去るなり)余は信ず、此市に於ける他の教會に行かば、彼等の如きものも、同情を受け得べしと、余は如何なる事起るも、眞理を語る可し。余は使命を帯ぶ。余は神と良心に要められて語らざる可らざる地位に立てり。故に余が言を好まざる人あらば、宜しく去るべし。余は語るべき自由を有す。故に語るべし。余が見る所を以てすれば、

今日の教會は「パール」の途に赴けり

其會員、長老、監督等は、メーソン結社内にて、日の神なるパールに跪けり。されど悉くは、然か罪を犯せるにはあらず。諸教會の内に、多くの善人あり。又多くの敬虔なる傳道者もあり。多くのパールに跪かざる者もあり。彼等は、其先輩に欺かれ、壓制せられ、誤られ居るなり。

世に見ゆる教會と見ゆる教會とあり。見ゆる教會は世界的にして、神に屬す。是は凡ての國にあり。凡ての教派中にあり。此神の教會に屬する者は、彼の罪によりて之に屬する能はざる人々より別たるべし。此教會は一なるべし。山羊は殘されて、綿羊は召さるべし。賢き處女は召されて、愚なるは殘さるべし。此分離は必ずなかるべからず。天國は十人の處女の如し、中に愚なる處女ありて、其愚なるが爲め、忍で教を傾聽するとなく、怒るときは、忽ち

出たるなり彼等は教を受くるとを好まず神云ひ玉へり曰く「我
 民はさどらず」と然り神の子等の或者は偏見に満てり彼等は天
 國を見れども未だ之に入りしとなし若し之に入りし者ならば
 今朝余が述べし如き大膽にして眞實なる聲を聞かば其如何な
 る人より來りしに拘らず之を喜ぶべき筈なり今や虚飾なき語を
 發すべきの秋たり凡ての教會之を知れり然り自ら斯く公言し
 つゝあるなり然れど之を受人るとを好む者は少し

神の聖意は神の王國の擴張を助けざる凡ての組織を破壊する
 にあり余は各宗派の統計表に依りて各派自ら其退歩の状態に
 在るを告白しつゝあるを諸君に示して以て神の王國は最早彼
 等の手によりて擴張せられざるの時至りたるに諸君の注意
 を引んと欲す彼等の統計表によりても百分の一の二分の一丈
 けの平均増加すら覺束なき程なり是れ退歩を示す者に非ずし
 て何ぞや揺動され得る者は取去らるゝに如かず残るべき者は
 動かされざるなりシオン起れり決して動揺せられざる王國即
 神の王國茲に起れり

我等の神は燒盡す火なり

オー神よ其燒盡す火をして凡ての惡を滅して善を成立せしめ
 玉はんことを願くは十九世紀以前背逆せるユダヤ教會を滅す
 爲に燃えし火現今の凡ての背逆を亡して神と正義の支配を回
 復し玉はんことを

數十人の誤まられたる人々は余が云はんどせし所を聞くに忍
 耐なくして出たりたるに拘らず諸君の終りまで靜聽せられし
 とを謝す先に出たりし人々の中にも後に至りて斯る行爲をな

して自己の負傷の如何に甚しかりきやを自ら現はせし意を
 慮出すの時あらんを信す願くは神彼等を恵み玉へ、
 余が如何なる人に對しても惡意を有せず余は凡ての人を愛す
 余が惡む所は罪なり余が惡む所は偽善なり惡なり余は神の與
 へ玉ひし光に従ひて神の爲に立てるなり余は神の爲に生活す
 我等は我等の内にある神の賜なる光によりて神の爲に働さう
 であるなり。

諸君にシオンにある基督教公同教會の主義實行目的を聞かん
 とを欲せらる今終に臨み余が語りし處に附加へんと欲するは
 我教會の主義を應用するに當りては以上の實行を目的は自然
 に添ふ者にして決して離る可らざる者なるを認められん
 と之なり之に兩面ある可らず正しきは一面のみ他面は不正な

なり此大戦争に於て神に屬するは只一方のみ眞の教會は唯一の
 みの教會光明の中に現はれ出でざる可らず而して此教會は
 豫言の確實なる言に依ればシオンに見出さるべき者なりシオ
 ンは神の御國の爲に立てり基督教公同教會若果してシオンに
 在らば是れ主の王國の内立てる者にして神の王國の擴張の
 爲に用ゐらるべき者なり而して實際に斯く用ゐられつゝある
 なり今日之に關する統計表を諸君に示すの要なし統計表は或
 事柄に關しては能く實際を示す者にあらず故に是亦或事柄に
 關しては公同教會の勢力を表さず吾人の力は數よりも大なれ
 ばなり僅に五百人以下を以て生れたる教會にして四年間に正
 に五万人の會員を有するに至りたりとは感謝に堪へざる處な
 り吾人は謹で神に感謝す或教授ノシ會堂第一號を指して「新

木程の小さき者」と嘲りたり。余は此言に就て神に謝す。實に是は各大陸及數万の人心に、火点したる薪木なりき。故に吾人は失望するの理由を有せず。吾人は神の爲し玉ひし御業を感謝し、凡ての榮を神に歸するなり。

徴召

諸君は、孰れの方面に立んとするや。此世の人と組織に束縛せられて、神と其永遠の計畫に眼を閉ぢんとするや。諸君は、神の爲に立ち良心に従ひて生活せんとするや。諸君は如何なる結果來るも、正義をなさんと決心せるや。諸君は出來得る限り、イエス、キリストの命令に従ひて歩まんとするや。斯く神に従ひて生活せんと欲する人は起立して、其意を神に告げられよ。全心、全性、出力を盡して、神に従ひ、生活せんと欲する人は、起立して祈禱せられよ。

(數百人起立)

献身の祈禱

我神、我父よ、我今主イエスの聖名によりて聖前に來る願は、此儘に我を受け入れ玉へ。靈に於ても生命に於ても、聖意に協ふ様に我を爲し玉へ。聖靈を興へ玉へ。爾に信任し得る様、我を助け玉へ。人に害を加へしとあらば、其人に償をなし、悔改め償還し、告白し、聖前に義を行ひ得る様、助けさせ玉へ。門の内を外問はず、キリストに従ひ、主の十字架を負ひ、主の爲に恥を忍び、主と共に勝利を得る様、大膽なる者となることを得る爲め、聖靈を興へ玉へ。全靈、全生、全心の潔めを得ん爲め、聖靈を興へ玉へ。いとイエスの聖名によりて願ひ奉る。 (聴衆は、總監督に從ひ、句々此祈を唱ふ)

是は諸君の本意なりや。

聽衆

然り

諸君は此上に立て生活せんとするや

聽衆

然り

然らば諸君はシオンに属する者なり速に之に入られよ諸君は外部の者にあらず蓋外部にては此の如き生涯は爲さなければなり

祝禱

愛する者よ諸の悪事の類に遠かるべし願くは平安の神自ら汝等を全く潔くし又汝等の全霊全性全身を守りて我等の主イエス、キリストの臨らん時に咎なからしめ玉はんことを爾曹を召く者は誠信なる者なり彼此事を成し玉はん我等の主イエス、キリストの恩神の愛聖霊の交爾曹凡てと共に在して常

に爾曹を保ち玉はんことをアーメン

注意

救主イエスキリストの完全な救に關する福音を知らんことを欲せらるゝ方は左の所に御來談被下候はゞ親しく御教示可申上候

明治三十四年四月八日印刷
明治三十四年四月十日發行

譯者 時田大一

橋濱山手中村一四〇七番地

發行者 テ、エ、ケアンス

橋濱山手中村一四〇七番地

印刷者 興石森藏

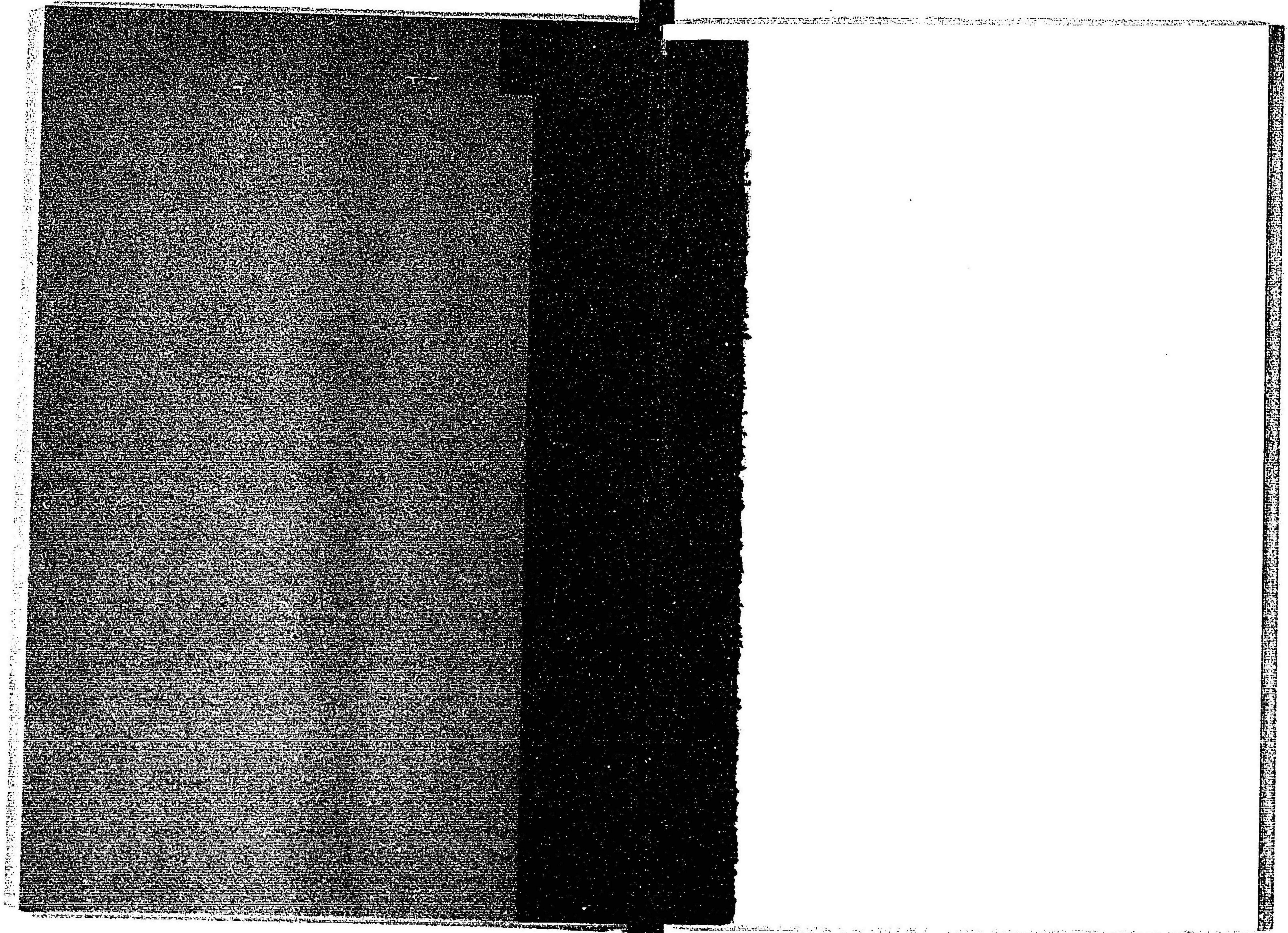
東京築地三ノ十一

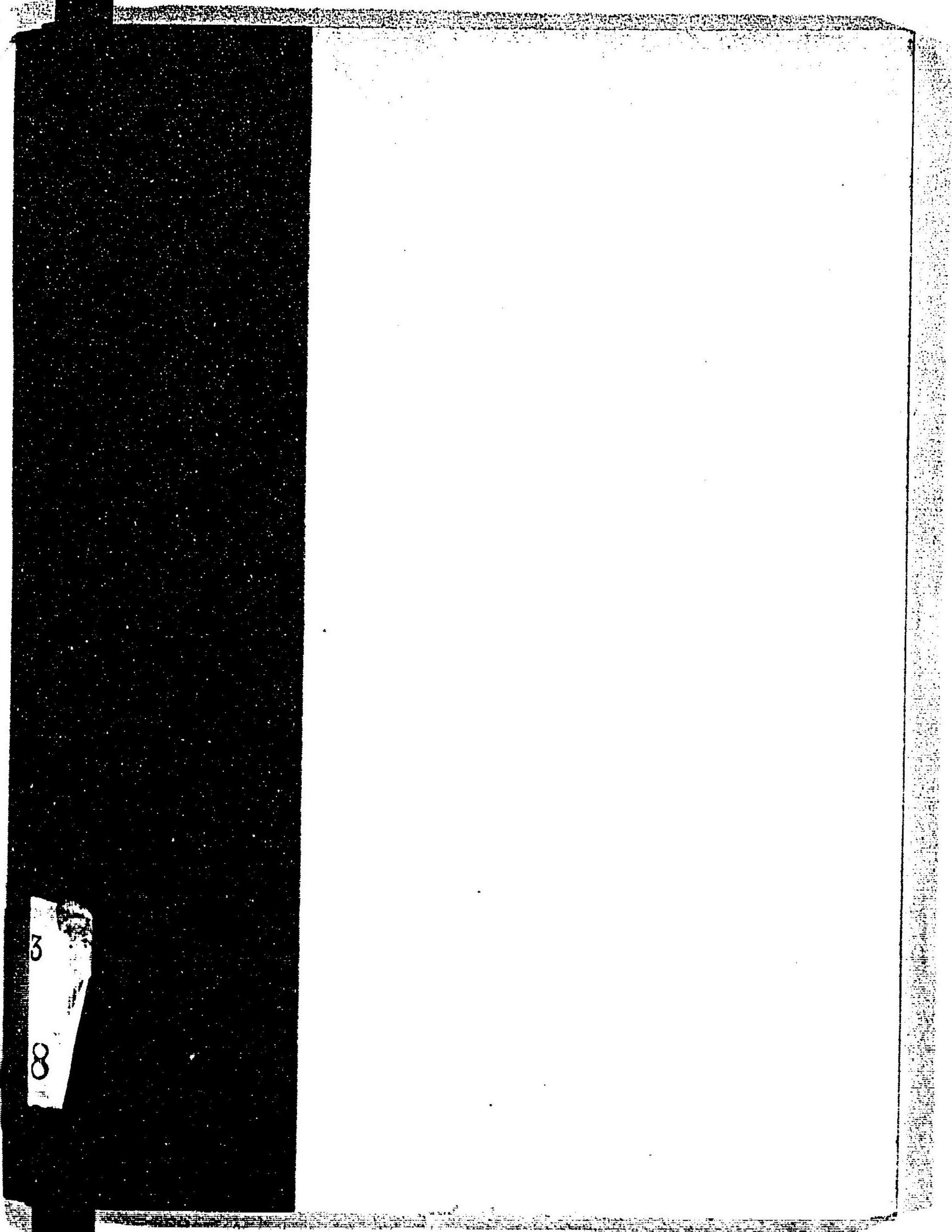
印刷所 小澤活版所

東京京橋區越前堀一ノ四

賣捌所 テ、エ、ケアンス

橋濱山手中村一四〇七番地





3
8